



町役場 観光案内施設
(岐阜県郡上市)



上の写真の内部。観光インフォメーション、無料休憩サロン、土産ショップなど。



蔵 喫茶店
(岐阜県岐阜市)



民家 駐車場
(岐阜県郡上市)

転用のススメ 伊藤 彩子

役割を終えた建物を別の用途として活用することは、日本ではまだまだ一般的ではない。古くて使いにくくなった建物は壊し、新しく建替えるというのが主流である。しかし、最近は古民家を改修した飲食店が流行するなど、新しく綺麗な建物以外にも価値を認めるという機運が生まれてきている。

建物を転用して使う時の動機は様々である。古民家を転用した飲食店などは、独特の雰囲気や温かみを店の付加価値として売りにしている。古民家を福祉施設とする場合は、家庭的な雰囲気づくりが大きな目的であろう。建物自体の保存を目的としたり、町並みの調和を乱さないため、という場合もある。建替えよりも改修の方が安上がりという経済的な理由や、環境への悪影響を考えて無駄な廃棄物を出さないように、という場合もあるかもしれない。また、特に考えた訳ではないが「たまたまちょうどよかったので別の用途に使っている」という場合もあるだろう。

動機は何であれ、転用された建物はどれも新築物件にはない複雑な面白さを持っている。ここでは私が見かけた転用建物のいくつかを紹介する。



民家 介護予防施設
(岐阜県加茂郡白川町)



上の写真の内部。利用者はここでゲームや小物づくりを行う。



学校 旅館
(新潟県中魚沼郡津南町)



工場 駐車場
(愛知県津島市)



やきものの窯 やきものショップ
(愛知県常滑市)

旧津島信用金庫の保存・活用

(愛知県津島市)

津島市の旧市街地にある旧津島信用金庫本店は、1929年建築の近代建築物であり、町家建築が連なる旧街道沿いでは異色の存在である。市内では珍しい貴重な建物であるが、2003年に売却・取り壊しの危機にさらされた。そこで建物の保存を望む市民が署名運動を行ったり、活用方法の提案書を提出するなどして市に取得を働きかけた。現在市が建物の取得に向けて動いているということである。



旧津島信用金庫

空き店舗を活用した拠点づくり

(愛知県知多郡武豊町)

武豊町では、2003年度から商工会が中心となって地域の商業者に呼びかけ、中心市街地の活性化を目指した活動をしている。今年度は、みゆき通り商店街の空き店舗を活用した拠点づくりに向けての話し合いを重ねている。拠点で何をするかというアイデアを出し合ったり、他の商店街の見学に行ったりしながら、イメージをふくらませているところである。



真剣な話し合い



建物などをリニューアルして生まれ変わらせるまでには、色々な準備・作業・調整・交渉が必要である。ここでは、地域の人達が協力して取り組んでいる「リニューアルの芽」を紹介する。